

### 会員向け学習会を開催しました

今月の会員向け学習会は、此花区にあるNPO法人「はばたく」の施設長をされている福井 武巳 氏を講師にお迎えして、「事業所として、支援者として大事にしていること」のお話を伺いました。

福井氏が、この仕事に就かれて23年になるという事でしたが、まず、その動機のお話から始まりました。特に福祉の仕事には興味がなく、就職が決まるまでの1年間のアルバイトという条件で門をたたかれたという事でした。しかし、その歓迎会の折、先輩職員全員が辞めるといふ事実が発覚しての歓送迎会になりました。といきなりショッキングな出来事。たった一人残された福井氏のその時の心中を察すると、聞き手の私たちも穏やかではなかったのですが、ひょうひょうとした様子で話される福井氏の人柄に引き込まれました。次に福井氏が担当した利用者Kさんとの関わりを年表にして、それぞれを比較しながらのお話しに続きます。当初、障がい者との接点が無く、驚き、新鮮、苦悩の日々だったそうです。しかし、不思議に不安という2文字は無く、他の職員の方と連携して支援されていました。前述のKさんを取り巻く環境も年々変化し、課題もたくさんあったそうですが、ご本人も徐々にその状況を受け入れられ、現在に至っているという事でした。

当時の事業所での行事の写真もスライドで拝見しました。クリスマス会での写真では、スヌーピーやレディーガガに変装してノリノリの福井氏に対し、一緒に写っている利用者さん達は無表情。次の写真はテーマパークへ行った時のワンショット。こちらも同じようにとても楽しそうな様子の福井氏に対し、一緒に写っている利用者さん達は無表情。ギャップがあり過ぎて会場も笑いに包まれました。その時、福井氏より次のような一言がありました。「こちらが良かれと思ってやっている事が、果たして利用者さんの為になっていないのではないか？自分たち（支援者）の主観で行動をしていないか？」まさに親や支援者が頭と抱える部分です。仕事として取り組む支援は、やり始めたらキリが無く、それが過剰になると自分自身にも相手にも負担が掛かってしまうので、ある程度のコントロールも必要だともおっしゃっていました。

お話を聞いていて、福井氏の熱意が伝わり、失礼な表現ですが、誰からも好感を持たれる「愛されキャラの施設長さん」そのものだと感じました。

最後に「こんなつたない話して申し訳ありませんで

した。」とご謙遜されて終了しましたが、印象に残る数々のお話を聞くことができた楽しい一時でした。



活動報告（1月16日から2月15日まで）

活動日	内容
1/16	大阪育成会新年懇親会 (KKRホテル大阪)
1/19	石田評議員 退官記念講義 (桃山学院大学)
1/21	難波支援学校・なにわ高等支援学校作品展
1/23	大阪府障がい者スポーツ大会実行委員会 (大阪府咲洲庁舎)
1/26	大阪知的障がい者スポーツ協会総会
	第6回全国手をつなぐ育成会連合会 権利擁護セミナー (広島県広島市)
1/31	第19回近畿手をつなぐ育成会連絡協議会 リーダー養成研修会 (兵庫県神戸市)
2/5	第5回全国手をつなぐ育成会連合会 全国大会京都大会 会場視察 (国立京都国際会館)
	近畿ブロック育成会連絡協議会 (京都育成会)
2/6	北摂杉の子会設立20周年記念 講演会 (高槻現代劇場)
2/8	生野支援学校作品展
2/13	大阪市障がい者施策推進協議会 障がい者差別解消支援地域協議部会 (大阪市役所)

### 大阪市育成会会員だより

#### 《会員交流会のお知らせ》

- ・日 時：3月15日(木) 10:00~11:30
- ・場 所：社会福祉センター 301会議室
- ・内 容：お茶を飲みながら会員同士で情報交換や意見交換をします
- ・申込締切：3月8日(木) (定員になり次第締切)